



# あいち民主

## 県議団県政レポート

### 会派名を「あいち民主」に変更し 何がなんでも！前進と連携

新政あいち県議団は、今回の統一地方選挙で、団そして地域政党である新政あいちの活動が県民に浸透していなかったことなどの要因により議席を減らしました。この敗北を受けて、大きな危機感を抱き、団の今後を議論した結果、政策実現のため、団を存続したほうがよいとの意見が多かったことから、まず分かりにくいと言われていた団の名称を「あいち民主」に変更して、新体制で出発することにしました。

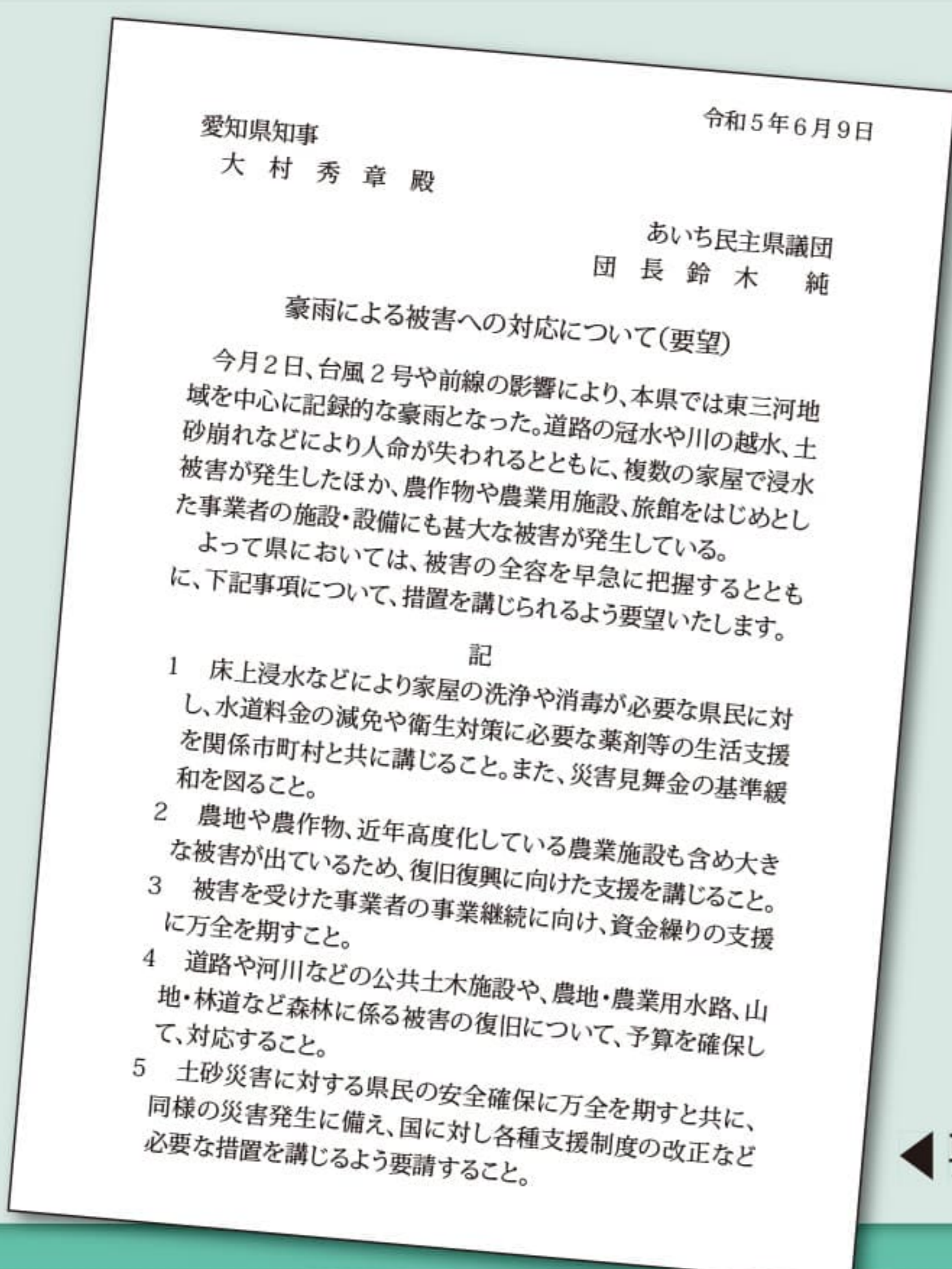
5月22日に召集された臨時議会では、物価高騰

等に対応する補正予算、約178億と同時に今年度の県議会議長、各委員会の構成などの議会人事を決議しました。

また、6月19日から7月6日の日程で6月定例議会が開会され、出産・子育て支援の取組を強化し、少子化対策をさらに推進することに加え、知的障害特別支援学校の教室不足を解消。また、6月2日の台風被害への対応などの補正予算約74億円ほか、可決されました。



大村知事に要望書を提出するあいち民主県議団 新五役



◀ 要望書

豪雨による被害への対応を  
知事に要望！

あいち民主県議団

団長 鈴木 純



6月2日、台風2号や前線の影響により、本県では東三河地域を中心に記録的な豪雨となった。道路の冠水や川の越水、土砂崩れなどにより人命が失われるとともに、複数の家屋で浸水被害が発生したほか、農作物や農業用施設、旅館をはじめとした事業者の施設・設備にも甚大な被害が発生したことを受けて、愛知県に対して被害の全容を早急に把握するとともに、下記事項について、措置を講じられるよう要望いたしました。

- 記
- 1 床上浸水などにより家屋の洗浄や消毒が必要な県民に対し、水道料金の減免や衛生対策に必要な薬剤等の生活支援を関係市町村と共に講じること。また、災害見舞金の基準緩和を図ること。
  - 2 農地や農作物、近年高度化している農業施設も含め大きな被害が出ているため、復旧復興に向けた支援を講じること。
  - 3 被害を受けた事業者の事業継続に向け、資金繰りの支援に万全を期すこと。
  - 4 道路や河川などの公共土木施設や、農地・農業用水路、山地・林地など森林に係る被害の復旧について、予算を確保して、対応すること。
  - 5 土砂災害に対する県民の安全確保に万全を期すと共に、同様の災害発生に備え、国に対し各種支援制度の改正など必要な措置を講じよう要望すること。

あいち民主県議団

代表質問から

(6月21日 本会議)



鳴海 やすひろ 総務会長 (中村区、3期)

1 5類感染症への移行後の 新型コロナウイルス感染症 対策について

知事 新型コロナウイルス感染症 法上の位置づけが5類感染症に移 行したがウイルス自体が消滅した わけでなく、今後も県民に寄り添 い、とりわけ重症化リスクの高い高 齢者・高齢施設入所者の方々の生命 と健康を守るために今後どのような 取り組みをいくのか質問した。知 事からは高齢者施設等の職員への 定期的なスクリーニング検査を継 続し施設内で新規陽性者が発生し た際はPCR検査を速やかに実施 できる体制を維持し、入院者に対し て緊急の往診・訪問看護を行う医療 機関を支援し、自宅で療養中の高 齢者や障害のある方への新型コロナ ワクチンの巡回接種を行う医療機 関に対する県独自の支援策も来年 3月末まで引き続き実施すると答 弁した。

2 アジア競技大会、 アジアパラ競技大会について

知事 開催まで3年余りとなり大会 への関心と期待が高まっている一 方、人気種目である競泳や飛込み競 技が東京での開催となり、選手村に ついても名古屋競馬場跡地の利用 からホテル等の宿泊施設を活用す るなど大きな方針転換がなされ、大 会成功に向けて課題は山積してい る。また、県内宿泊施設のバリアフ リー化等のユニバーサルデザイン の推進は大変重要であり今後の取 組を質した。知事はユニバーサルデ ザインの推進は参加するアスリー トが最高のパフォーマンスを発揮 するとともに年齢や性別、障害の有 無などに関わらず全ての方がスム ーズに観戦できる環境を整えるた めの不可欠な要素であり整備基準 を定めるアクセシビリティガイド ラインを今年中にとりまとめるた めの検討会を設置しハード・ソフト 両面で誰もが快適に大会を楽しめ る環境づくりを進めると答えた。

3 名鉄名古屋駅地区の 再開発について

知事 リニア開業を見据えて愛知 の顔ともなりえる名鉄名古屋駅地 区再開発に対して県としてどのよ うな支援を行っていくのか質問し た。再開発事業は開業して以来のま さに100年に一度の大事業であ り本県の更なる発展に大きく寄与 する極めて重要な事業であり、名 鉄、名古屋市などの関係者と緊密な

連携を図り国の補助制度適用の働 き方を含めた資金面での支援など 最大限のバックアップをしていく と知事が答えた。

4 特殊詐欺や侵入盗対策

警察本部長 減少傾向にあった刑法犯 認知件数が13年ぶりに増加に転じ た。中でも特殊詐欺や侵入盗とい った犯罪の増加が際立っている。 こうした情勢を踏まえ未然防止や 犯人の検挙についてどのように対 策を進めるのか質問した。警察本 部長からは特殊詐欺の特徴として 被害者の約8割が高齢者で被害の 多くが固定電話への着信が契機と なっており、犯人と直接会話する ことを避けるため被害防止機能付 き電話機の普及等に取り組んでい る。また、侵入盗については出店 荒らし被害の増加が著しく店舗で は現金を保管しないことや防犯性 能の高い金庫、トライアルカメラ の活用を通じて犯罪のおきにくい 社会づくりを推進し県民の体感治 安を悪化させる犯罪に対して県警 察の総力を挙げた取り組みを推進 すると答弁があった。

5 中高生の英語力向上

教育長 文部科学省が行った「英 語教育実施状況調査」の結果によ

ると本県は中学3年生でワースト 3位、高校3年生で全国40位と都 道府県順位が低かった。現在のグ ローバル社会において将来活躍で きる人材を育成するためにも世界 共通語である英語力を高めること が不可欠であり教育長に対し、教 員の更なるサポートも含め今後の 取組を質問した。教育長からは今 回の調査結果を重く受け止めてお り、今後は英語に親しみ楽しく学 び、スピーキングやライティング のテストをこまめに行いながら小 中学生が二日間の英語漬けの共同 生活を送るイングリッシュキャン プや県立大学のネイティブ教員に よる授業体験などを行い愛知の子 供たちの英語力向上にむけしっか り取組むとの答弁があった。

●その他の質問項目

- ・中小企業の人材確保支援 ラーケーションについて
- ・本県行政におけるDXの推進 について
- ・航空宇宙産業への支援に ついて
- ・愛知県産木材の活用 方策について
- ・がん対策について
- ・少子化対策について
- ・ジブリパークを 活用した周遊観光 について



愛知県議会ホームページ https://www.pref.aichi.jp/gikai/

あいち民主県議団

一般質問から

(6月22日・23日 本会議)

県営住宅の「単身学生入居」の検討について



高橋 正子議員 (一宮市、6期) は、入居者の高 齢化により、自 治会運営の滞り が課題となつて いる県営住宅で 今、自治会活動 に参加してもら う ことを条件に、大 学生には格安家 賃で入居してもら い、自治会活動 を手伝ってもら う取組が全国で 広がっている。そ こで本県でも、自 治

会活動の担い手を確保するためにも、県営住宅への「単身学生入居」を検討してみてもどうか？との問 いに、県は本来の対象者の入居を 阻害しない範囲内で学生の入居を 認めることは自治会活動の活性化 につながるから、国の「地域対 応活用」の手法を用い、先行して取 り組んでいる自治体の事例を参考 に具体的な検討を進めると答弁。

スタートアップの海外展開支援について



黒田 太郎議員 (千種区、3期) は、スタートア ップ企業がより 大きく成長して いくためには、その 業態によって は海外展開が重要 になると考えら れる。これまで構 築してきた海外 のスタートアップ 支援機関などの 連携を活かし、本 県スタートア ップの海外展開 支援をどのように

実施していくのか尋ねた。 これに対して大村知事からは、 海外渡航実績を踏まえ、世界の先 進的なスタートアップ支援機関・ 大学との連携を強化・拡大し、その 強みを生かしたスタートアップの 海外展開支援を拡充することによ り、STATION Aiを中核 に、本県独自のスタートアップの グローバル・ハブの形成を目指し ていくとの答弁があった。

来年度から警察手数料がキャッシュレスで！



森井 元志議員 (守山区、5期) は、低年齢化が 懸念される「ギ ャンプル依存症 の予防教育」につ いて県は、教員の 依存症に関する知 識の向上、大学 での新入生ガイダ ンスでの啓蒙など、 予防教育の充実 に取り組んでいく 考えを示しました。 また、全国最下位 グループにある「あ いちの

子供たちの体力、運動能力、運動習 慣の向上に向けて」では、アクティ ブチャイルドプログラム等を活用 し、子供たちの体力向上に取り組 む考えを示しました。 「警察手数料でのキャッシュレ ス決済の導入」については、来年度 からの各種警察手数料で、キャッ シュレス決済の導入の準備を進め ていることを初めて明らかにしま した。

県の人材戦略とエネルギー戦略について



山口 健議員 (岡崎市及び額 田郡、1期) は、 愛知県が誇る産 業が直面してい る人材不足とエネ ルギー費高騰とい った課題に対して、 具体策の提言を 交え質問。人材 確保では、他の 都道府県からの 転入促進や、物 流ドライバードラ 不足に対する 女性活躍の促 進に加え、国の 外国人技能実 習制度

見直しを見据え、外国人材から選 ばれる愛知の取り組みを提言。労働 局長は、外国人が安心して働ける 適正な労働環境を整えることは、人 手不足への対応や生産性向上が急務 の中小企業等にとって重要、と回答。 エネルギー費高騰対策については、 省エネ設備への更新や再エネ設備 の導入の補助制度を継続する旨の 答弁があった。

# 令和5年度 あいち民主県議団議会役員等

## ■あいち民主県議団役員

団 長	鈴木 純 (稲沢市)	副 団 長	—————
幹 事 長	天 野 正 基 (小牧市)	副 幹 事 長	朝 倉 浩 一 (半田市)
総 務 会 長	鳴 海 やすひろ (中村区)	副 総 務 会 長	小 木 曾 史 人 (あま市及び海部郡)
政策調査会長	桜 井 秀 樹 (豊田市)	副政策調査会長	山 口 健 (岡崎市及び額田郡)
監 事	島 孝 則 (東海市)	監 事	細 井 真 司 (刈谷市)

## ■議会役員等

常任委員会	総務企画 (4)	副委員長 おおたけりえ	理事 天野正基	安井伸治	朝倉浩一
	県民環境 (3)	委員長 黒田太郎	理事 高木ひろし	鈴木純	
	福祉医療 (4)	副委員長 小木曾史人	理事 森井元志	細井真司	江原史朗
	経済労働 (4)	委員長 福田喜夫	理事 かじ山義章	鳴海やすひろ	村寫嘉将
	農林水産 (4)	理事 高橋正子	長江正成	桜井秀樹	藤原聖
	建設 (3)	副委員長 松本まもる	理事 富田昭雄	阿部洋祐	
	教育・スポーツ (3)	委員長 河合洋介	理事 谷口知美	島孝則	
特別委員会	警 察 (3)	理 事 鈴木まさと	日比たけまさ	山口健	
	議会運営委員会 (4)	副委員長 日比たけまさ	理事 天野正基	理事 鳴海やすひろ	鈴木純
	デジタル化・地方創生調査 (4)	理 事 かじ山義章	鈴木純	山口健	村寫嘉将
	カーボンニュートラル調査 (3)	副委員長 森井元志	理事 おおたけりえ	阿部洋祐	
	安全・安心対策 (3)	委員長 長江正成	理事 福田喜夫	島孝則	
一部事務組合	子ども・子育て対策 (4)	理 事 高橋正子	天野正基	江原史朗	藤原聖
	アジア・アジアパラ競技大会推進 (3)	副委員長 谷口知美	理事 日比たけまさ	細井真司	
	競 馬 (3)	副議長 鈴木まさと	富田昭雄	朝倉浩一	
審議会	競 輪 (3)	河合洋介	鳴海やすひろ	桜井秀樹	
	名古屋港 (5)	企画総務副委員長 安井伸治	高木ひろし	黒田太郎	松本まもる
審議会	政治倫理審査会 (4)	副会長 高木ひろし	高橋正子	長江正成	森井元志
	屋外広告物 (1)	朝倉浩一			
	都市計画 (2)	常務委員 高橋正子	小木曾史人		

## 県政 TOPICS

### あいち民主県議団

これまで私たち県議団では7つの政策推進議員連盟（議連）①観光・地域振興、②多文化共生、③健康と食、④中小企業振興、⑤介護、⑥私学振興・子育て支援、⑦子ども・若者議連があり、政策実現に向けて取組んできました。今回、新たに「農業推進」と「モビリティ政策推進」を加え、今まで以上に調査研究をおこない政策実現に向け、**皆様のお声**を伺いながら取組んでまいります。

### 政策推進議員連盟を充実!

